

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 12. 18

下水道機構の『新技術情報』 第313号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

もうすぐクリスマスですね♪昨日、やっとクリスマスの飾りつけをしました(遅っ!)。1週間だけですがクリスマス気分を味わいたと思います。また受験生の姪には、落ちない「マンホールふた」の験を担いで、呉市の戦艦大和のデザインマンホールのハンドタオルをクリスマスプレゼントに用意しました。円形のハンドタオルってナイスアイデアですね!無事に合格しますように(^_-)-☆

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第313号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

・12月の技術サロンは、(公社)日本下水道協会 技術研究部国際課長 松宮洋介氏をお迎えして開催しました

■機構の動き

・今週は行事はありません

■Tea Break

・同窓会(研究第一部 T.Uさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる

・今回のゆいまーるは、企画部副部長の後藤さんより

「山形市の公共下水道蔵王幹線の取材へ行ってきました!」をお届けします♪

■国からの情報

・12/15付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話題です)

。○。○。

●12月の技術サロンは、(公社)日本下水道協会 技術研究部国際課長 松宮洋介氏を

お迎えして開催しました

今回のテーマは「トイレに流せる衛生製品問題 “こんなことが許されるのか？”」でした。

松宮課長は1990年建設省（現国土交通省）に入省され、省内以外にも地方公共団体、日本下水道事業団、下水道機構などで下水道事業に尽力されてきました。2014年に国土交通省を退職され、同年（公社）日本下水道協会に入社、現在は現職である技術研究部国際課の課長としてご活躍されています。

講演内容は、日本や欧米におけるトイレに流せる衛生製品の問題についてでした。冒頭、トイレトーパー、トイレに流せるトイレクリーナー（紙製品）、トイレに流せるおしりふき（不織布）、それぞれを入れた3本のペットボトルに水を入れ3回程度上下に振り、どの程度水解性があるのかを実演して下さいました。不織布製品は全く水に溶けませんでした。他の二製品は水の中でばらばらになっていました。国内外で、小さな不織布が網のように編み込まれた状態（ローピング）でマンホールポンプのインペラ部分に絡まり、詰まる現象が確認されているそうです。また海外では、ポンプ井の前端に沈砂池等がない施設には破砕機が設置してあり、し渣等は粉碎してポンプで排水されるそうですが、破砕された不織布はポンプ井の渦流で再度ロープ状に編み込まれ（リ・ウィービング）、ポンプに絡みつくと報告されているそうです。一方で、そのような不織布がトイレに流せる製品由来か、流せない製品由来かを判別するのは困難との事でした。

日本をはじめとして世界ではトイレに流せるものの公的な基準がなく、現在、松宮課長も一員となっている「世界下水道トイレに流せる製品問題検討会議（IWSFG）」によって規格策定の検討が進められているとのことでした。

トイレに衛生製品を流すという日常における身近な問題のご講演で、とても興味深く参考になるご講演でした。また皆さんの関心も高く、今回も多くの方々にご参加していただき、大変盛況のうちに閉会となりました。

さて、次回の技術サロンは1月11日（木）16:00から17:00での開催となります。「平成30年度下水道事業予算等について」をテーマに、国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課の堂蘭企画専門官を講師にお招きしご講演いただきます。

多数のご参加をお待ちしております！

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●行 事：第366回技術サロン

日 時：平成30年1月11日（木） 16:00～17:00

場 所：機構8階 中会議室

講演者：国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課 堂蘭企画専門官

テーマ：「平成30年度下水道事業予算等について」

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●同窓会 (研究第一部 T.Uさんからの投稿です)

先般、わが母校の中学校の同窓会が地元で開かれました。卒業して数十年になります。(過去にも2~3回開催されたようですが。)私は遠方のため出席しなかったのですが、その数か月後、出席メンバーのうちの何人かで集まる機会があり、私も参加して大変に懐かしい(年老いた?)昔の友人らと再会することができました。

当時非常に仲がよく毎日のように遊んでいたある人物と再会でき、大変に感激したところです。見た目は大いに変わってしまいましたが、雰囲気や人柄は昔のままであまり変わっていませんでした。中学校卒業後は進学した高校も別々で皆バラバラになりましたが、今回何十年ぶりかで会った昔の友人と当時のままの関係で話が出来たことは驚きでした。みんな昔のことをよく覚えてますね。(最近のことはすぐ忘れませんが。)

言葉遣いも昔のまま「オレ、オマエ」で呼び合いましたが、全く違和感はありませんでした。

もっと早くこのような機会があればよかったですと感じました。会ってみたい人物は他にもまだまだ多数おり、何とか探し当てて再会したいと思います。

。○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○。

●今回のゆいまーるは、企画部副部長の後藤さんより

「山形市の公共下水道蔵王幹線の取材へ行ってきました!」をお届けします♪

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-12-18>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017. 12. 15 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

師走も折り返しを迎え、今年も残すところわずか。今週になって、関東地方も朝晩がめっきり寒くなったように思います。休日は、家から出るのもおっくうになりますが、幸い（とっては何ですが）、今週末は年賀状づくり。家でゆっくり用意したいと思います。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○マンホールで受験生を応援します！！（下水道企画課）

○「コンセッション事業推進セミナー」の開催について

～コンセッション事業の最新の取組状況の紹介と今後の推進について～

（国土交通省総合政策局官民連携政策課）

○高知から発信する下水道の未来 第1回シンポジウム「持続可能な下水道を実現する革新的水処理技術」の開催について（高知大学、高知県）

○災害時こまらんトイレ！（公共下水道接続型仮設トイレ）をPRします！（神戸市）

○トイレに流せる製品に関する米国の裁判事例について（（公社）日本下水道協会）

○NPO21世紀水倶楽部 研究集会「リン資源の課題と下水道MAP技術の展開」

開催のお知らせ

（NPO21世紀水倶楽部）

=====

○マンホールで受験生を応援します！！（下水道企画課）

受験シーズン到来を前に、“○”くて“滑らない”「マンホール」のお守りを各地方公共団体等がプレゼントしています！これらの取り組みについては、国交省HPでも紹介しています。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000535.html

<プレゼントしているお守り>

群馬県館林市：合格祈願済みマンホールカード

群馬県富岡市：合格祈願済みマンホールカード&缶バッジ

岐阜県郡上市：マンホールカード（お守りバージョン）

愛知県：オリジナルコースターのお守り

鳥取県江府町：合格祈願済みマンホール缶バッジ

広島県竹原市：マンホールカード（お守りバージョン）

山口県下松市：受験生に縁起の良いマンホールカード

○「コンセッション事業推進セミナー」の開催について

～コンセッション事業の最新の取組状況の紹介と今後の推進について～

(国土交通省総合政策局官民連携政策課)

国土交通省と内閣府は、平成30年2月16日(金)に「コンセッション事業推進セミナー」を開催することといたしましたので、お知らせします。本セミナーでは、道路、空港、下水道、MICE施設、文教施設分野におけるコンセッション事業の最新の取組をご紹介します。参加受付は、本日より、以下URLにて開始します。

新たなビジネス機会を拡大するとともに、公的負担の抑制を図り、経済・財政一体改革を推進するためには、コンセッション事業の活用が効果的であり、様々な分野で導入が進められています。

今回のセミナーは、コンセッション事業のより一層の普及促進を図るため、全国の自治体・民間事業者等を対象に開催いたします。

■開催案内(プログラムや詳細については、プレスリリースをご確認ください)

日時：2月16日(金) 13:30～17:00

開催地・会場：東京 三田共用会議所

定員：講堂 約350名

■参加の申し込みについて

以下のURLにアクセスいただき、参加申込みフォームからお申し込みください。

なお、今回セミナーの参加できない方について、今後ブロックプラットフォームのイベント情報の配信を希望する場合も、以下のURLより登録を行ってください。

<https://ez-entry.jp/conce29/entry/>

■その他

- ・本セミナーは公開で行います。

<プレスリリース>

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21_hh_000071.html

○高知から発信する下水道の未来 第1回シンポジウム

「持続可能な下水道を実現する革新的水処理技術」の開催について(高知大学、高知県)

地方の中小都市では、人口減少や財政状況の悪化、下水道施設の老朽化などの課題に直面しており、このような状況下においても持続的に下水道を運営していくことが求められています。

全国に先駆けて人口減少が進む高知県では、県内各地で課題解決に向けた取り組みを行っており、これらの最新の知見を紹介するシンポジウムを高知大学と共催で開催することとしましたので、お知らせします。

<開催概要>

高知から発信する下水道の未来 第1回シンポジウム

「持続可能な下水道を実現する革新的な水処理技術」

- ・開催日：平成30年1月29日（月）～30日（火）
- ・シンポジウム会場：高知大学朝倉キャンパス メディアの森6階「メディアホール」
- ・見学会会場：下知水再生センター（高知市）、須崎市終末処理場（須崎市）、夜須浄化センター（香南市）
- ・参加費：無料（意見交換会及び見学会の昼食代は実費）
- ・定員：100名（先着順）
- ・申し込み締め切り：平成29年12月28日（木）
- ・共催：高知大学、高知県
- ・後援：高知市、須崎市、香南市、日本下水道事業団（予定）

・プログラム

【シンポジウム】平成30年1月29日（月）

13:00 開会挨拶

13:20 招待講演

「新下水道ビジョン加速戦略と国土交通省の今後の施策（仮）」

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業調整官 松原 誠 氏

14:10～15:30 基調講演

「人口減少社会に向けた下水道の方向性とシンポジウムのねらい」

高知大学教育研究部自然科学系農学部門 教授 藤原 拓

「日本下水道事業団における技術開発の方向性」

日本下水道事業団技術戦略部 上席調査役 橋本 敏一

「持続可能な下水道に向けた高知県の取り組み」

高知県土木部公園下水道課 主幹 伊藤 理恵

15:50～16:50 新技術セッション

「オキシデーションディッチ法における二点DO制御システム」

香南市上下水道課 上下水道課長 宮田 憲一

「無曝気循環式水処理技術」

高知市上下水道局下水道施設管理課 水質管理担当係長 尾崎 歩

「DHSシステムを用いた水量変動追従型水処理技術」

須崎市建設課 下水道担当参事兼都市計画係長 西村 公志

16:50 閉会挨拶

17:00 閉会

【新技術見学会】平成30年1月30日（火）

8:30～15:20 下知水再生センター～須崎市終末処理場～夜須浄化センター

詳細につきましては、下記をご参照ください。

【高知県公園下水道課 HP】

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/171801/2017121300368.html>

○災害時こまらんトイレ！（公共下水道接続型仮設トイレ）をPRします！（神戸市）

神戸市では、災害時でも水洗で利用できる公共下水道接続型仮設トイレを市内58箇所に整備しています。これまで十分に行なえていなかった設置箇所や使用方法等の積極的なPRのため、この度、公共下水道接続型仮設トイレに「災害時こまらんトイレ！」という愛称を付け、上屋の組立手順説明書や動画を作成し、HPにて公開しています。今後、設置箇所への看板の設置や、使い方動画の作成等、さらなるPRを進めていきます。

災害時こまらんトイレ！PRサイト

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/waterworks/sewage/komarantoile.html>

○トイレに流せる製品に関する米国の裁判事例について（（公社）日本下水道協会）

先月、米国の下水道関係団体（米国水環境連盟 WEF と米国下水道管理者協会 NACWA）は連名で意見書(amicus brief)を裁判所に提出しました。

背景として、2016年12月、ワシントンDCは不織布製品を規制する条例を議会で可決しましたが、2017年9月、キンバリークラーク社（米国大手企業）が条例施行を差し止める訴えを起こしていました。

意見書では、WEF と NACWA が「キンバリー社が安全性の根拠としている不織布団体規格は、下水道関係者の意見を踏まえたものでなく、製造関係者が一方的に作成したものであり、不十分な内容である。」と断言しています（P16-20）。

この欧米の不織布団体規格を日本の業界団体が引用しており、国内でもトイレトペーパーに比べ著しく水に溶けない衛生製品が、トイレに流せる製品として販売されています。本会は、会員ならびに関係者の皆様のご指導、ご協力を仰ぎながら、このような状況が改められるよう取り組んで参ります。

<参考 UR>

裁判所提出意見書：

<https://www.wef.org/globalassets/assets-wef/5---advocacy/legislation-and-regulation/this-week-in-washington/wef-nacwa-amicus-brief-on-wipes-case.pdf>

欧米不織布業界規格：<https://www.edana.org/industry-initiatives/flushability>

国内業界団体の引用：

http://www.jhpia.or.jp/standard/wet_wiper/img/wetwiper_standard07.pdf

○NPO 21世紀水倶楽部 研究集会「リン資源の課題と下水道MAP技術の展開」開催のお知らせ
(NPO 21世紀水倶楽部)

わが国では必要なリン資源の全量を輸入に頼っているのが現状です。国土交通省で

は下水道の活用による付加価値向上策の一つとして、下水中のリンの資源回収の推進を提唱しています。

このような情勢を踏まえ、21世紀水倶楽部は「リン資源の課題と下水道MAP技術の展開」の課題を設定し研究集会を開催します。この分野に造詣の深い先生方の講演やリン回収の先進事例の現場の方々からの報告も交え、今後のリン回収の方向性を議論します。ふるってご参加をお願いいたします。

テーマ：【リン資源の課題と下水道MAP技術の展開】

■日時：平成30年2月7日（水）13:30から17:00まで

■会場：けんぽプラザ（渋谷区千駄ヶ谷）

■プログラム：

- ・ Pイノベーションー持続的リン利用とリン循環産業ビジョン

早稲田大学リンアトラス研究所客員教授・大阪大学名誉教授 大竹久夫

- ・ わが国の農耕地土壌の実態と回収リン酸肥料（MAP）の活用

東京農業大学名誉教授・「全国土の会」会長 後藤逸男

- ・ 20年のMAP事業を振り返って～福岡市のリン資源活用への挑戦

福岡市道路下水道局 施設整備課長 管谷悌治

- ・ B-DASHにおけるリン回収と資源循環の取組～KOBЕハーベスト（大収穫）プロジェクト～

水ing株式会社 情報ソリューション統括 部長 古賀大輔

- ・ 質疑討論

■申込方法：NPO 21世紀水倶楽部ホームページの参加登録フォームからお願いします。

ご案内の詳細ページは <http://www.21water.jp/j-sched.htm>

=====

【参考情報】

◆中小河川の水害 自治体が危険性の周知を 〈12/10 NHK NEWS WEB〉

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20171210/k10011253071000.html>

◆イトミミズで汚泥減量、処理費用削減へ実験中 〈12/10 読売オンライン〉

<http://www.yomiuri.co.jp/science/20171209-0YT1T50022.html>

◆マンホールカードに大阪・河内長野版が登場 「クスノキ」と「菊」の図柄 〈12/14 産経WEST〉

<http://www.sankei.com/west/news/171214/wst1712140016-n1.html>

◆国分寺市がご当地「マンホールカード」 4000枚配布 〈12/14 立川経済新聞〉

<https://tachikawa.keizai.biz/headline/2561/>

◆マンホール穴場探せ！…カード人気、観光PRも 〈12/15 読売オンライン〉

<http://www.yomiuri.co.jp/national/20171214-0YT1T50106.html>

◆「落ちない」マンホールカード、世界遺産で配布 〈12/15 読売オンライン〉

<http://www.yomiuri.co.jp/national/20171215-0YT1T50018.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
